



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名) 西川 治彦 (TEL)075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,399	△6.4	97	△6.2	48	—	29	—
28年12月期第1四半期	2,564	2.4	103	—	△19	—	△66	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.67	—
28年12月期第1四半期	△5.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	18,427	2,084	11.3
28年12月期	18,698	2,041	10.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,084百万円 28年12月期 2,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	—	3.00	3.00
30年3月期	—	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年1月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,041	△4.2	229	△34.7	126	△29.3	62	△28.6	5.62
通期	12,783	—	507	—	249	—	213	—	19.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年3月24日開催の第98期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことにより、決算期を毎年12月31日から毎年3月31日に変更することになりました。つきましては、本年度は平成29年1月1日から平成30年3月31日までの15ヶ月の変則決算となります。

通期業績予想につきましては、15ヶ月の業績予想としておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	11,091,400株	28年12月期	11,091,400株
30年3月期1Q	—株	28年12月期	61,394株
30年3月期1Q	11,060,703株	28年12月期1Q	11,030,010株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用情勢の改善傾向を背景に緩やかな回復基調で推移いたしましたが、個人消費の伸び悩みをはじめ、不確実な海外情勢を背景とした中、景気の先行きは不透明な状況が継続いたしました。

京都のホテル業界におきましては、訪日外国人旅行者の動向に変化の兆しがあるものの、宿泊部門が引き続き好調に推移する等、概ね良好な経営環境が継続いたしました。

かかる環境下、当社におきましては、からすま京都ホテルの客室改装(84室)をはじめ、平成28年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画に基づき、諸施策を着実に実行してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,399百万円(前年同期比165百万円減)となりました。一方、収益面におきましては、前年に続き原価管理、経費削減に努めましたことに加え、不採算店舗の撤退効果もあいまって、営業利益は97百万円(前年同期比6百万円減)となり、第1四半期における近年最高の売上高、営業利益であった前年に準じる結果となりました。

また、前年3月に実施いたしましたシンジケートローンのリファイナンスに伴う金融費用削減効果により、経常利益は48百万円(前年同期は経常損失19百万円)、四半期純利益は29百万円(前年同期は四半期純損失66百万円)となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

(宿泊部門)

京都ホテルオークラの宿泊売上高は、邦人・外国人ともにインターネットや会員の個人客が増加いたしました。旧正月期間を中心にアジアからの団体客が減少し、売上高は前年同期比9百万円減となりました。

からすま京都ホテルにおきましては、1～2月の客室改修工事に伴う販売制限がありましたが、3月以降インターネットでの個人客が順調に推移したことに加え、改装による客室単価の値上げ効果もあり、売上高は前年同期比4百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は765百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

(宴会部門)

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、好調であった前年に比べ件数が大幅に減少したことに加え、一般宴会においても前年の大型催事に代わるものもなく平年並みに推移したことにより、売上高は前年同期比68百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会で料理・飲料単価は前年を上回りましたが、件数の減少により、売上高は前年並みとなりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は805百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

(レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、館内店舗におきまして、エージェン特経由の団体予約が堅調に推移しましたが、スカイレストラン「ピトレスク」、鉄板焼き「ときわ」、中国料理「桃李」ではディナータイムの当日客が大幅に減少したことなどにより、売上高は前年同期比23百万円減となりました。また、館外店舗におきましては、京料理「粟田山荘」で婚礼件数が減少したことをはじめ、不採算店舗閉鎖完了に伴い、売上高は前年同期比60百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、定期的な宣伝効果により、お食事処「入舟」が好調に推移し売上高は前年同期比1百万円増となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は698百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

(その他部門)

その他部門の売上高は129百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

主な減少要因は「レインツリー」閉店に伴う物品販売の減少によるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	765,946	31.9	△0.6
宴会部門	805,427	33.6	△7.9
レストラン部門	698,878	29.1	△10.7
その他部門	129,137	5.4	△5.8
合計	2,399,390	100.0	△6.4

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ270百万円減少し、18,427百万円となりました。負債は、前事業年度末に比べ313百万円減少し、16,343百万円となりました。また、純資産は前事業年度末に比べ42百万円増加し、2,084百万円となり、自己資本比率は11.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年2月10日公表しました予想値をほぼ達成可能とみていることから、修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

また、当社は事業年度を「毎年1月1日から12月31日まで」としておりましたが、決算事務の効率化及び営業施策上の観点等により「毎年4月1日から翌年3月31日まで」に変更することになりました。

なお、決算期の変更に伴い移行期間となる第99期事業年度は、平成29年1月1日から平成30年3月31日までの15か月となります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,512,146	1,299,550
売掛金	565,370	475,816
原材料及び貯蔵品	102,046	70,422
前払費用	25,546	36,514
繰延税金資産	47,700	59,931
未収還付法人税等	3,861	7,968
その他	17,563	16,205
貸倒引当金	△812	△513
流動資産合計	2,273,422	1,965,896
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,524,303	10,520,455
構築物（純額）	58,811	55,900
機械装置及び運搬具（純額）	47,175	46,080
器具及び備品（純額）	265,679	334,294
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産（純額）	182,657	172,121
建設仮勘定	-	5,184
有形固定資産合計	16,149,969	16,205,377
無形固定資産		
ソフトウェア	12,553	10,395
リース資産	146,381	139,037
電話加入権	4,429	4,429
商標権	366	354
無形固定資産合計	163,732	154,216
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	14,681	13,399
前払年金費用	17,463	13,032
差入保証金	54,046	54,126
繰延税金資産	3,600	-
その他	12,672	12,522
貸倒引当金	△728	△653
投資その他の資産合計	111,735	102,427
固定資産合計	16,425,436	16,462,021
資産合計	18,698,859	18,427,917

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,558	181,589
1年内返済予定の長期借入金	724,852	714,852
リース債務	76,241	75,129
未払金	590,264	786,130
未払費用	216,523	131,699
未払法人税等	17,757	15,388
前受金	74,163	95,049
預り金	65,742	65,479
前受収益	48,384	37,224
賞与引当金	-	51,000
ポイント引当金	21,076	21,357
その他	35,301	30,644
流動負債合計	2,166,865	2,205,544
固定負債		
長期借入金	13,203,666	12,881,953
リース債務	285,765	267,713
長期末払金	171,547	163,470
長期預り保証金	829,792	821,009
繰延税金負債	-	4,007
固定負債合計	14,490,770	14,138,154
負債合計	16,657,636	16,343,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	450,229	450,229
その他資本剰余金	60,000	80,265
資本剰余金合計	510,229	530,494
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	288,401	284,798
利益剰余金合計	288,401	284,798
自己株式	△26,332	-
株主資本合計	2,041,222	2,084,218
純資産合計	2,041,222	2,084,218
負債純資産合計	18,698,859	18,427,917

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高		
室料売上	740,221	733,705
料理売上	1,049,076	947,583
飲料売上	209,481	193,115
雑貨売上	139,937	121,428
その他売上	425,762	403,556
売上高合計	2,564,479	2,399,390
売上原価		
料理原料	316,091	281,869
飲料原料	46,314	41,018
雑貨原価	106,903	95,794
その他原価	76,490	59,742
売上原価合計	545,800	478,424
売上総利益	2,018,678	1,920,966
販売費及び一般管理費	1,914,727	1,823,462
営業利益	103,951	97,503
営業外収益		
受取利息	18	0
補助金収入	2,260	275
受取手数料	963	970
その他	739	1,760
営業外収益合計	3,983	3,007
営業外費用		
支払利息	75,873	51,581
支払手数料	51,099	250
その他	412	645
営業外費用合計	127,385	52,476
経常利益又は経常損失(△)	△19,451	48,033
特別損失		
固定資産除却損	16,286	15,430
借入金中途解約損	27,424	-
特別損失合計	43,710	15,430
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△63,162	32,603
法人税、住民税及び事業税	1,767	7,739
法人税等調整額	1,094	△4,623
法人税等合計	2,862	3,115
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66,024	29,487

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。